

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172902702		
法人名	有限会社 Freedom		
事業所名	グループホームプランタンV		
所在地	旭川市9条通15丁目24番地		
自己評価作成日	平成24年1月19日	評価結果市町村受理日	平成24年3月21日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://system.kaigochoo-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0172902702&amp;SCD=320">http://system.kaigochoo-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0172902702&amp;SCD=320</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3番地北1条ビル3階
訪問調査日	平成24年2月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ケアの理念に沿って家庭的な不囲気を忘れずに、利用者の不満の声に耳を傾け、その都度、ご家族と相談・ご協力をお願いし、少しでも不満が軽減するよう努めています。健康管理の面でも、週1回のボランティアで行われている柔道整復師による施術のサービス・毎日のテレビ体操を行っています。ご家族に利用者さんの通院ごとに現在の病状の結果報告をし、安心をして頂き、ご家族・利用者とのコミュニケーションを大切に、一人一人にあったケアを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

法人グループは、デイサービスや有料老人ホーム、居宅介護支援事業所など、福祉のニーズに応える事業を展開しています。代表者は、医療と連携した介護を目指しています。当ホームは、施術師による機能回復施術が受けられることが大きな特色であり、リハビリテーションの効果が利用者及び家族から喜ばれています。また、利用者への優しさと思いやりを大切にしており、コンプライアンスを重視した運営を行っています。当運営法人の名称である「フリーダム」の名の通り、利用者ができる限り自由な生活を楽しむ場所となるよう、ホームと家族が一体となって、利用者一人ひとりに合わせた暮らしを支援しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)	○
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	○
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おおむね満足していると思う	○
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)			

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域に根付いたホームを目指し、理念に基づき日々職員・管理者は、共有する場を持ち、実践している。	職員の実践力を高めるため、法人名のフリーダムをもとに、職員全員で新しい理念を作っています。その人に合った自由な生活を大切にし、尊厳や人権を尊重するなどの理念に基づき、利用者本位のケアを行っています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の活動自体が乏し為、地域の付き合いは、進展が難しだが、同じ町内の他施設との交流を深め、町内会・他施設2件との、緊急協力要請連絡網の作成、近隣の商店街のお祭り参加、地元中学校の職場体験、慰問などの交流ゴミステーションの清掃の実践、	町内会に加入し、回覧板にホーム通信を提供し、ホームから地域に情報を発信しています。地域の祭りに飾る花かご作りに参加したり、ゴミステーションの清掃やバス停の除雪など、自発的に行っています。将来的にはホーム祭りを開催し、地域住民の方々との交流を目指しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域貢献をする為の第一歩として、ホーム通信を町内会の回覧板に掲示してもらいましたが、まだ、挨拶程度なため、貢献できていない。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事の予定や報告、健康管理仕方、緊急連絡網の作成をする為、地域の薬剤師・地域包括支援センターの職員・町内会の方・町内の他施設の管理者の方々の参加を頂き、意見交換をし、サービス向上に活かしている。	運営推進会議は、町内会長・地域包括支援センター職員・利用者・家族・他施設管理者など、参加で行われています。ホームの行事報告や、町内会・町内の他法人施設との災害時に於ける連携や協力体制の話し合いの場となっています。	今後の課題として、運営推進会議を更に活性化するため、会議メンバーの充実を望みます。また、家族が運営推進会議に関心を持って頂けるよう、全家庭に会議録を送付することを期待します。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護高齢課開催の研修会などに積極的に参加し、情報収集に努め、生活保護課担当者にも積極的に取り組みを伝え、協力関係を築くよう取り組んでいます。また、地域包括支援センターとも運営推進会議の場など他でも積極的に取り組みを伝え、協力関係を築くよう取り組んでいます。	市の介護高齢課、生活保護課と相談や、サービスの状況報告を行い、助言などを得ています。また、市主催の研修会等に積極的に参加し、情報交換に努めています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の必要な利用者場合は、十分に状態を検討、本人が危険になるなどを想定する場合にご家族にしっかり説明、理解して頂いた上で同意を得ています。玄関の施錠もドアに工夫をし、夜間帯以外は施錠をしないケアの取り組みを行っています。	利用者一人ひとりが、できる限り自由であることをケア目標に掲げており、日中は玄関の施錠はしていません。家族には自由を尊重する反面、危険などのリスクも説明しながら、職員の都合主義にはならないとの思いでケアを実践しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者・職員同士の申し送り・確認を徹底し、虐待に及ぶことのないよう注意を払い防止に努めています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修に参加した職員が講師となり、全体ミーティングで他の職員が学ぶ機会を持ち活用できるように支援しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者、家族から不安・質問等を聞き、ご家族の目線で考え、十分な説明を行い理解・納得を図り、改善点は速やかに解決を図っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者や家族等から意見、要望があった場合は、ミーティング等で職員全体から意見を聞き検討し、運営に活かす努力をしています。	家族との繋がりを大切にしており、訪問時や運営推進会議などで気軽に声かけを行い、何でも話して頂ける関係作りができています。意見や要望があった場合は、その場で話し合い、改善に必要な内容はミーティング等で検討し、解決しています。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	いつでも職員から意見や提案を聞ける体制にあり、ミーティングや日頃のコミュニケーションで意見やアイデアを出しやすき雰囲気作りを設け検討し良い事は実践に移しています。	管理者は、日常職員とコミュニケーションを深め、意見等、話しやすい雰囲気作りをしています。また、ホームにはイベント企画部会などの各部会を設置しており、そこからの意見や提案を取り上げ、その結果、各浴室の改修工事や通路の手すりの設置等に反映させています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々で一年間の目標を立ててもらい向上心を持ってもらいアドバイスをしたりしています。また、個々でできるだけ働きやすい条件を考え、できるだけ休み希望を優先にしたシフトを考え働きやすい職場環境に努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	日々の業務行動を観察し、力量を把握し、内外研修に積極的に参加を促し、必要であれば勤務の変更し参加してもらうよう努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近郊の施設との交流の機会を作り、ネットワークづくりをしてきました。また、グループ内での他施設訪問、研修会に参加、継続的に交流して、良い所を取り入れサービスの質の向上に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人を理解する為に、声かけをし遠慮をしないで話のできる環境、関係づくりを努め、一緒に作業をしながらの会話の中で、不安や要望などの訴えを聞きだすようにしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	職員から積極的に家族に話かけ、不安なこと、要望等を聞きながらその都度話し合いの場を作り、話しやすい関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者、家族からの不安、要望、などを聞き、まず必要な支援を家族、利用者に話、相談し他ののサービス利用も含めた対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者に「出来ない事」をお手伝いさせて頂くということをお話しし理解して頂き、一緒に達成感、喜びあう関係づくりを築くようにしています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、ホーム通信を発行しホームの行事、様子を報告し、面会時には、本人の病状、普段の様子報告。また、家族が困っている事、悩んでいる事も一緒に考え共有し支えています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友人がいつでも面会できる雰囲気づくりに努めています。	利用者と家族との関係性を大切にしており、大晦日に家族が利用者の部屋で過ごしたり、お盆には寺詣りなど、家族に協力を頂きながらケアをしています。また、入居後も囲碁サークルへの送迎など、家族の協力を頂きながら行い、地域でこれまで培ってきた人間関係を大切にしています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	行事などを他者と一緒に参加して交流を深め、楽しい生活をしてもらえるとうに支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約の終了後でもこれまでの関係性を大切に、相談や支援に努めている。必要に応じて連絡を取ったりもしています。			
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会話のできる方とは、ちょっとした会話の中からも希望、意向等を把握し、困難な場合は、声掛けを多くし、表情や行動、雰囲気等で把握に努め、出来るだけ快適な生活ができるよう検討している。	職員は日々の関わりを通して、利用者一人ひとりの希望や意向の把握に努めています。また、困難な場合にも利用者の希望を第一に、その人に合った自由な生活ができるよう検討を繰り返しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族から情報を収集し、出来るだけ生活歴表、フェースシートを作成して一人ひとりの把握に努めています。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの表情や心身の状態、言動等を把握し、状態の変化を毎日の申し送り、定期のミーティングにより情報の共有を行い現状の把握に努めています。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の話を良く聞き、家族の意向も聞き、職員と協力して現状を把握し、意見アイデアを反映しながら介護計画を作成しています。	ケアの目標でもある、その人に合った自由な生活ができるよう心がけています。利用者や家族の意向をもとに、職員間で、日々のケアの中での気づきや、意見を出し合い、現状に即した介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護記録に日々の会話や行動を記入してもらい、個別の評価表で実践、結果、気づきや工夫を記入してもらい情報を共有しながら介護計画の見直しに活かしています。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	市内中心部に近い利点を活かして、本人の状況により、早期通院、大型スーパー、大きな公園も近い為、買い物や外出等、柔軟な支援やサービスに取り組んでいます。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	馴染みの方との交流や今まで利用していた場所の訪問の継続を家族と協力しながら交流・利用を支援している。			
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望を大切に、ずっと通院している病院をできるだけ継続受診できるような環境を整え、個々の医療機関とも連携を取り合い適切な医療を受けるように支援しています。	利用者、家族の希望するかかりつけ医への受診を支援しています。また、変化があった際には、協力医療機関の診察も受けられ、その都度、状況や受診結果を家族に報告しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日バイタル、検温を測定し、排便、体調確認様子等で、気になる事は、看護師に相談、確認し早めの受診を支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の情報提供を迅速に行い、医療機関に出向いて相談やこまめな連絡を取り合い、病院関係者との円滑な関係づくりを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	日頃から、本人や家族と不安や要望を聞き良く話し合い、看護師とも何度も協議を重ね、同じ方針でケアを進めて行けるように支援している。	利用契約書に重度化や終末期の際の対応を示し、あらかじめ協議し、協力病院等の医療機関と連携を図ることなどを説明しています。状況に応じ、家族、医療関係者、ホームとで段階的に話し合い、意向確認書や同意書などを整備し方針を共有しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ミーティング等で転倒骨折の疑いのある方の確認、対応の訓練を行ったり、一部の職員を消防主催の救急救命の講習会に参加をさせたりしていますが、実践力は身に付けていません。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間想定・日中想定、2パターンの避難訓練を行い迅速に避難できるようにしている。また、町内の施設、町内会との火災、水害、地震等の災害の時に連携を取り合うための連絡網を作成。地域との協力体制を築けるよう努めている。	暖房やキッチンを改修しオール電化にしたことで、火災を出さない状況下にしていますが、他の災害に備え、夜間も想定した避難訓練を行っています。また、町内会と町内の他施設間で、災害時における地域協力の連絡網を作り上げています。	新たに作成した地域協力の連絡網を活用し、地域の方々の参加を得て避難訓練を行う際には、消防署の協力も頂き、実施することを期待します。また、救命救急訓練を職員全員が受けることも期待します。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ケアをする際、個々に誇りや考え方が違う為、尊敬の念を忘れずに、言葉使いに気を付け声掛け、対応をしています。	理念でもある尊厳や人格を尊重し、年長者として敬意を払い、挨拶や声かけには十分注意を払っています。また、施設長は接遇場面などでの、思いやりの言葉の大切さを啓発しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとり表現仕方が違う為、その都度表情や態度や口調で判断し、自己決定出来るよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常生活の中である程度の日課はあるが、本人のペースに合わせています。他にどのように過ごしたいかはその都度可能な限り支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2か月に一度、訪問理美容を利用し、服装も毎日同じ物を着ないよう支援し、本人の着たい洋服で季節に合わせた服装が出来るよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理好きな利用者と野菜の皮剥きなどを一緒に楽しく作業したり、食器拭き等一人ひとりに合わせてお手伝いをしてもらっています。	業者による食材を用い、彩りや食材の持ち味を損ねないよう工夫しながら、職員が調理を行っています。家族にも参加して頂き、野外でのバーベキューやグルメツアーを取り入れ、食事に変化をつけ楽しみになるよう支援しています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご飯など、一人ひとりグラムを量るなど一日の水分量も1500ccを摂取を目指すなど、個々の状態や力、習慣に応じた支援をしている。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎夕、入れ歯の洗浄を行い、個々の口腔状態や本人の力に合わせて、ブラッシングやうがいを行っています。また、月に一回歯科の口腔ケアを行っています。			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、1～2時間置きで声掛けを行い誘導し、失敗してもそつと、声掛けして誘導を行い排泄の自立に向けた支援をしています。	チェック表などで排泄リズムを把握しており、尊厳や羞恥心を大切に、タイミングを見ながらトイレ誘導しています。また、職員は通じが良くない影響を理解しており、テレビ体操などを取り入れながら、利用者の便秘予防に繋がっています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	職員全体で便秘の原因等を理解し、水分摂取の促し工夫運動の為一日一度ラジオ体操も取り組んでいます。			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	基本、曜日と時間帯は決まっていますが、時間内でだけですが、個々のタイミングに合わせて柔軟な対応でゆっくり会話を楽しみながら入浴。入浴後は笑顔を見せています。	週2回、午後の入浴支援をしていますが、生活習慣やその時々希望により、順番などを含め、ホームとして出来る限りの範囲で対応しています。浴室の改修により、温かく気持ち良く入浴して頂きながら、会話や歌を楽しむ場にもなっています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼間は、一人ひとりのペースに合わせてホールのソファや居室で休むなど、安心して休める空間づくりを行いました。夜間は気持ちよく安眠出来るよう支援しています。			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬の危険を職員全体で認識し、副作用等、処方内容には、一通り目を通し、薬の準備、投薬前は複数職員で本人の薬なのかを確認しています。また、変更時は申し送り等で職員全体が把握し予防に努めています。			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりに合ったできるお手伝い、役割を持ち、強制でなく、職員と一緒に会話をしながら楽しく行えるよう支援しています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候により近くの公園や町内への散歩、近郊の大型スーパーへの買い物に出かけ、家族の協力を求め四季を通しての祭り、イベントに出かけられるよう支援しています。	年間行事の冬まつりや花見、七夕祭りに参加したり、外食も楽しんでいます。また、利用者の意向を把握し、家族の協力を頂き、職員同士の連携などで、大型スーパーでの買い物を楽しんで頂けるよう工夫をしています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	普段は金庫に保管していますが家族の了承があれば個人で保管し、自動販売機でジュースを購入したりしています。また、買物レクリエーションがあり職員と一緒に個人の好みの物を買物に行っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	友人や家族に手紙を出したいと依頼をする方もいます。また、居室内に電話を引いている方、ホームの電話で家族に電話をする方もおられ、柔軟な対応で支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは常に整理整頓、清潔にする事を心掛け、利用者同士の関係性を考えたテーブル席の配置、ソファの位置も考え居心地のよく過ごせるよう工夫しています。部屋の温度の変化がないようにと心掛けています。	共用空間は広く、利用者同士の関係性に配慮し、一人掛けの椅子を設けたり、利用者が不安がらないよう、それぞれの意向に添うようなレイアウトにしています。灯油ストーブから電気による温室キープシステムに切り替え、居心地良く過ごせ、安心感が得られる居場所となっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	思い思いに過ごせるような居場所を作る為、ソファの配置でゆっくり過ごせるスペースを作っています。また出来るだけ気の合う利用者同士でテーブル席を座れるよう配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族と本人に馴染みの家具や道具を持ち込んで頂き、使いやす配置にしてもらい、居心地良く自由に過ごせるような工夫をしています。	テレビや電話など、使い慣れた物を持ち込む方、仏壇を置く方など、利用者それぞれが、自由で安心して過ごせる場となっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	床の色が変わることなく居室まで続いていて、手すりも必要な所には必ず配置をし、出来るだけ自立して安全に歩行して移動できるようにし、個々の状態に合わせた居室の配置にし工夫しています。		